

<第1号議案>

事業報告書

(第12期)

自 令和6年(2024年)4月 1日

至 令和7年(2025年)3月31日

一般社団法人 市民エネルギー生駒

(生駒市北田原町 1548 番地 1)

(第9期)

自 令和6年(2024年)4月 1日

至 令和7年(2025年)3月31日

合同会社 生駒市民共同発電所

(生駒市北田原町 1548 番地 1)

*1～3号機は市民エネルギー生駒・4～5号機は生駒市民共同発電所の事業となっています。

1. 発電実績

令和6年度(2024 年度)は、これまでに設置した 5 発電所が順調に稼働、発電実績は天候にも恵まれ予想を上回る結果となりました。

日射量: 平年比 104%、発電実績: 前年比 101%、実行計画比 113%

<2024 年度発電実績>

単位: kWh

発電所号機	発電実績	実行計画	実績/計画(%)
1号機	60,462	53,838	112
2号機	70,382	60,986	115
3号機	67,748	60,366	112
4号機	102,128	87,757	116
5号機	105,204	95,399	110
合 計	405,924	358,347	113

実行計画(これまでの発電実績を基に作成した上積計画で当初計画より約 10%高い値 4・5号機は当初計画と同じ)

2. 売電金額実績(詳細単価省略)

発電量に伴い売電金額も増加する結果となりました。

ただ、2024 年度より、11年目に入った1号機は廃棄処理積立費用が差し引かれ、FIT 利用の1～4号機は出力抑制制御の影響を受け売電金額より差し引かれています。

金額: 全て税込金額

廃棄費用: 売電・振込金額より削減済み

	発電実績	単価	売電実績	出力制御	振込金額	実行計画	実行計画比	廃棄費用
	kWh	円/kWh	千円	千円	千円	千円	%	(内数)千円
1号機	60,462	—	—	▲72	—	—	—	▲82
2号機	70,382	—	—	▲78	—	—	—	0
3号機	67,748	—	—	▲70	—	—	—	0
4号機	102,128	—	—	▲78	—	—	—	0
5号機	105,204	—	—	—	—	—	—	—
	405,924		11,248	▲298	10,950	9,895	111	▲82

① 1号機は、廃棄処理積立費用として、2024.5 より、売電価格より 1.4 円差し引かれている。

② 出力抑制制御が 2024 年度より開始、1～4 号機は▲298 千円の収入減となる

上記①②にも拘わらず、実行計画比 111%、+1,055 千円と貢献しました。

売電実績金額合計は3・4月月次金額調整により決算金額とは異なります。

<令和6年度(2024 年度)活動実績>

1 市民共同発電所の安定操業及び収益の有効活用

① 市民共同発電所の安定操業

前記発電実績の通り、天候にも恵まれタイムリーなメンテナンスにて安定操業を続ける事に注力した結果、1～5号機全て計画を大きく上回る実績を残す事が出来ました。

今年度より影響を受けた廃棄処理積立費用(1.4 円/kWh_約 3.5%)、出力抑制制御費用(4～7・11 月_約 2.6%)が差し引かれましたが、発電量の大幅アップにより売電金額においても計画をクリアする事となりました。

② 収益の地域還元

その結果、出資者への安定配当を維持すると共に、生駒市への固定資産税の支払い、イベントとして市民に定着した「くらしのブンカサイ」や「ららまつり」にてソーラーカー工作教室を開催、参加者への資金援助を実施しました。

③ 市民共同発電所5号機の大きな貢献

FIT に依存しない 5 号機(生駒市介護老人保健施設やすらぎの杜「優楽」南法面に設置)は、エネルギー価格高騰の中、燃料調整費・再エネ付加金不要の自家消費型、地産地消再生可能エネルギーとして大きく貢献しました。

その実態を 10 月開催の「地域共生社会推進全国サミット in いこま」にてパネル展示し、昼間にエネルギー使用量が多い老人施設への提言を実施しました。

2. 市民共同発電所 6 号機の検討

脱炭素先行地域 PJ と連携し進めるも、2025 年度への持ち越しとなりました。

3. 生駒市、いこま市民パワー(ICP)との連携強化

① 地産再生可能エネルギーの拡大推進

ICP への電力供給7年目を迎え、ICP が進める地産再生可能エネルギー獲得に対し、市民共同発電所 5 機からの安定供給を実施しました。

② 地産一般家庭への電力供給及び地産 FIT 切れ太陽光発電量の買い取り支援を継続。住宅用 FIT 切れ太陽光発電電力の買取りに対し、経営・営業戦略面での支援を実施しました。

(CEI 出資者 18 名[前年増 2 名]に対し感謝を込め 2 円/kWh 特別支援)

③ 生駒市が推進する環境会議への参加

市民を代表する環境団体として、学識経験者・民間企業と共に生駒市の取り組む環境事業及び課題について意見具申・構築に向け尽力しました。

- ◆生駒市環境審議会(8/23、11/22)
 - ・令和6年度版「生駒市の環境」について
 - ・第3次生駒市環境基本計画の見直しについて

4. 地球温暖化防止啓発活動

① 2024 年度新エネ大賞への挑戦

費用面含め企業向けの傾向が強く、市民団体が目指す姿とのギャップより断念し、第 15 回脱炭素チャレンジカップ 2025(主催:一般社団法人地球温暖化防止全国ネット)に挑戦。一次二次審査を通過し、テーマ「市民と行政の連携によるまちづくり」にて、優秀賞を受賞しました。(2025.2.20 日本科学未来館にて)

② 小中学生・高校生・大学生への啓発活動及び連携活動

◆奈良北高等学校 文部科学省 SSH(Super Science Highschool)

夏期講座での啓発活動検討

<テーマ> 近くの市民共同発電所を学ぼう

7/26(奈良北高校にて)

(参加者 13 名)

◆第4期いこま未来 Lab(高校生・大学生)ゲストスピーカー

<テーマ> 市民エネルギー生駒11年の歩み

8/12 (ららポートにて)

(参加者約 20 名)

◆ソーラーカー工作教室

・10/6:敦賀きらめきみなと館 JoyJoy フェスタ 2024 (参加者 16 名)

・11/5:ベルテラス広場 くらしのブンカサイ (参加者 15 名)

・2/9 :北コミュニティーセンター ららまつり (参加者 21 名)

◆奈良女子大学「カーボンニュートラル～将来に引き継ぐ地球環境とくらし～」

<テーマ> エネルギーの地産地消を目指してー市民エネルギー生駒の活動ー

10/20 (奈良女子大学にて)

(参加者約 30 名)

③ 市内・市外団体からの取材・講演への対応

◆2024 市民電力ゼミナール(NPO 市民電力連絡会主催) 8/12 Zoom 講座

<テーマ> ～脱炭素先行地域創造への歩み～

「市民と自治体の連携による自家消費 PPA の実現」 (参加者約 100 名)

◆市外 CEI 取組プレゼンテーション活動

・NASO「匠の環」にて紹介 11/13(奈良市中部公民館) (参加者約 80 名)

◆地域共生社会推進全国サミット in いこま

・パネル展示/解説 10/11(たけまるホールロビー) (参加者 約 1,000 名)

◆メディアへの掲載

・奈良北高等学校夏期講座(7/26 実施)紹介記事 (朝日新聞 7/28)

5 広報活動への取組強化

ホームページへのタイムリーな一更新により最新情報を掲載しました。

ソーラーカー工作教室申込への QR コード等からの対応を実施しました。

6 技術開発と実証試験(自家消費型太陽光発電設備の導入検討)

マイクログリッドタイインバーターシステム実証実験を継続するとともに、システムのアップグレードのために太陽電池と蓄電池を増設し、その効果を確認しました。太陽電池は軽量フレキシブルモジュールを屋根上に針金止めで設置し、屋根に負担なく容易に設置できることを確認できました。(最初の太陽電池はガレージ上に固定)その結果、太陽電池 700W→1475W(211%)、蓄電池 2.4kWh→4.8kWh となり、4 月の発電量は R6 年 46kWh→R7 年 105kWh(228%)と倍増し、消費電力量への寄与率も R6 年 28%→R7 年 47%と大幅に増加することを確認しました。

精華町の知人宅に、太陽電池 1100W(ベランダ設置)/インバータ 1kW/蓄電池 2.4kWh のシステムを設置し、DIY 設置での注意点を改めて確認できました。

7. 組織強化・人材育成

寒川運営委員が定年に伴い9月より運営委員会に常時参加、2025 年度での理事就任の承諾が得られ、日比野理事担当の技術部の強化を図ると共に、CEI 理事の若返り・体制強化を実現することが出来ました。